

みずほCustomer Desk Report 2023/03/03 号 (As of 2023/03/02)

市場営業部 為替営業第二チーム

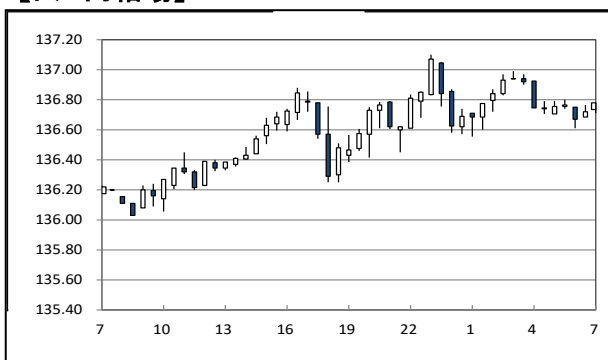
【昨日の市況概要】				公示仲値	136.20
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	136.20	1.0668	145.26	1.2030	0.6760
SYD-NY High	137.10	1.0672	145.56	1.2035	0.6765
SYD-NY Low	136.03	1.0577	144.82	1.1924	0.6707
NY 5:00 PM	136.78	1.0598	144.91	1.1948	0.6730
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,003.57	341.73	日本2年債	▲0.0400%	▲0.0100%
NASDAQ	11,462.98	83.50	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	3,981.35	29.96	米国2年債	4.8871%	0.0097%
日経平均	27,498.87	▲ 17.66	米国5年債	4.3126%	0.0567%
TOPIX	1,994.57	▲ 3.24	米国10年債	4.0596%	0.0661%
シカゴ日経先物	27,705.00	220.00	独10年債	2.7450%	0.0300%
ロンドンFT	7,944.04	29.11	英10年債	3.8800%	0.0390%
DAX	15,327.64	22.62	豪10年債	3.8580%	0.0640%
ハンセン指数	20,429.46	▲ 190.25	USDJPY 1M Vol	11.88%	▲0.32%
上海総合	3,310.65	▲ 1.69	USDJPY 3M Vol	11.61%	0.02%
NY金	1,840.50	▲ 4.90	USDJPY 6M Vol	10.97%	▲0.10%
WTI	78.16	0.47	USDJPY 1M 25RR	▲1.72%	Yen Call Over
CRB指数	271.30	▲ 1.51	EURJPY 3M Vol	10.73%	▲0.04%
ドルインデックス	105.03	0.54	EURJPY 6M Vol	10.57%	▲0.13%

東京	東京時間のドル円は136.20レベルでオープン。前日(3/1)の米経済指標の結果を受けたインフレの長期化懸念から米10年債利回りが再び4%台に乗せる動きを横目にドル円はじり高で推移。クロス前には136.72を付け、136.69レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.69レベルでオープン。引き続き米10年債利回りが4%台で高止まりする中136.88まで上昇。その後、136円台半ばでもみ合い、136.79レベルでNYに渡った。一方、ユーロドルは1.0641レベルでオープンし、コアインフレが依然として根強いことを示すユーロ圏2月消費者物価指数が発表されるもじり安で推移。ドル高に伴って前日(3/1)の上昇を打ち消すような値動きとなり、1.0606レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、前日(3/1)のドル売りの反動かじり高で推移し、136.79レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が引き続き20万件を下回り、同時に発表の普段は注目度の低い第4四半期単位人件費が、予想の2倍の伸びとなったことから、昨年12月20日以来のレベルである137.10まで上昇する。しかしこのレベルでは利益確定の売り意欲もあり、136.56まで下押す。その後は米長期金利が上昇する中136.95まで戻す。午後はボスティック・アトランタ連銀総裁の「3月は25bpの利上げ支持だが「タ次第」との発言が伝わり、ウラール理事の「インフレは予想ほど速く鈍化していない」などの発言が伝わるが、ドル円の反応は限定的となり、金利が徐々に落ち着く中やや下落し、136.78レベルでクロスした。一方、イタリアのCPIが予想を上回ったものの、前日(3/1)ユーロドルが1.07台に乗せられなかったことから、海外市場で売りが強まり1.0606レベルでNYオープン。朝方は米単位人件費結果を受けたドル買いに1.0582まで下落する。その後一旦1.0615まで戻す局面もあったものの、米金利上昇を受けたドル買いに再び1.0577まで反落する。午後は調整から1.0606まで戻し、1.0598レベルでクロスした。

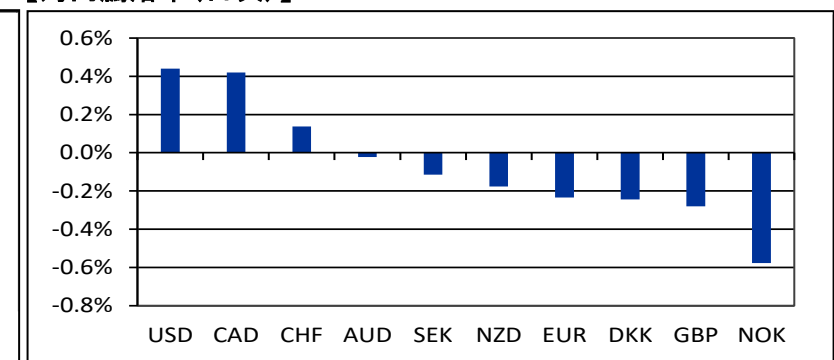
【昨日の指標等】						
Date	Time	Event			結果	予想
3月2日	19:00	欧	CPI速報値(前年比/前月比)	2月	8.5%/0.8%	8.3%/0.5%
	19:00	欧	コアCPI・速報	2月	5.6%	5.3%
	19:00	欧	失業率	1月	6.7%	6.6%
	21:30	欧	ECB議事要旨	過度な金融引き締め懸念は時期尚早		
	22:30	米	新規失業保険申請件数	25-Feb	190k	195k
	22:30	米	単位人件費	4Q	3.2%	1.6%

【本日の予定】						
Date	Time	Event	予想	前回		
3月3日	10:45	中 Caixin中国PM(サービス業・コンポジット)	2月 54.5/-	52.9/51.1		
	17:55	独 S&P Global PMI(サービス業・コンポジット)確報	2月 51.3/51.1	51.3/51.1		
	18:00	欧 S&P Global PMI(サービス業・コンポジット)確報	2月 53.0/52.3	53.0/52.3		
	18:30	英 S&P Global PMI(サービス業・コンポジット)確報	2月 53.3/53.0	53.3/53.0		
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	1月 -0.4%/17.8%	1.1%/24.6%		
	23:45	米 S&P Global PMI(サービス業・コンポジット)確報	2月 50.5/-	50.5/50.2		
3月4日	00:00	米 ISM非製造業景況指数	2月 54.5	55.2		
	02:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-		
	05:00	米 ボウマンECB理事 講演	-	-		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.00-138.00	1.0500-1.0700	144.00-146.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場では、ドル/円は一時137円台まで上昇する場面も見られた。海外時間に入ると米10年債利回りが4%台に乗せたことや、米10-12月期単位労働コスト改定値が予想を大きく上回ったことを受けてドル買いが優勢となりドル/円は上昇した。しかし、137円台では戻り売りが強く136円台後半まで反落して取引が継続。本日もドル/円はドル買いが優勢になると予想。但し、137円台では戻り売りが強い値幅は限定的となりそう。また、今晚発表予定の米2月ISM非製造業景況指数は前回比弱い結果が予想されているため、予想通りの結果となればドル/円が反落する契機になるかも。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・木村